

# りんかい線沿線のイメージ分析 ～認知地図を用いて

武蔵野大学サステナビリティ学科  
白井ラボ 2348018坂本実咲

# 認知地図（イメージマップ）とは？

## 頭の中にある地域のイメージを地図に描いたもの

最初はケビン・リンチという心理学者が提案（1960年）。主観的なイメージは客観的な状況とは異なり、これを分析することで次のことがわかる。

- ①人々に共通するイメージがある → 地域の特徴がわかる
- ②属性によりイメージが異なる → 属性による地域のとらえ方の違いがわかる
- ③地域のよい所やわるい所が示される → 地域づくりの課題がわかる
- ④多くの人知らない要素が書かれる → 隠れている地域資源を発掘できる

# 調査の目的と方法

## 調査の目的

- りんかい線の駅周辺に対するイメージから、駅周辺の魅力と課題を知り、今後のあるべき地域づくりを検討する基礎資料とする。

## 調査の方法

- りんかい線沿線の駅ごと、異なる属性ごと（大学生、高校生、社会人、居住者の人たち）に、最寄駅のイメージを地図として描いてもらう。
- 国際展示場駅周辺と東雲駅周辺の地図を描いてもらった
  - ・ 国際展示場駅周辺（学科学生3年生22名、教員1名、広報課職員9名）
  - ・ 東雲駅周辺（かえつ有明高校28名、在住者1名）
- さらに比較対象として、ラボ生の自分の家のまわりの地図を描いてもらった。

# 調査の結果

大学生による国際展示場駅周辺のイメージマップの例

ビル中心、狭い範囲

キャンパス周辺の  
ビルの名前  
(TOC、TFT)、  
キャンパス内の  
校舎名が具体的

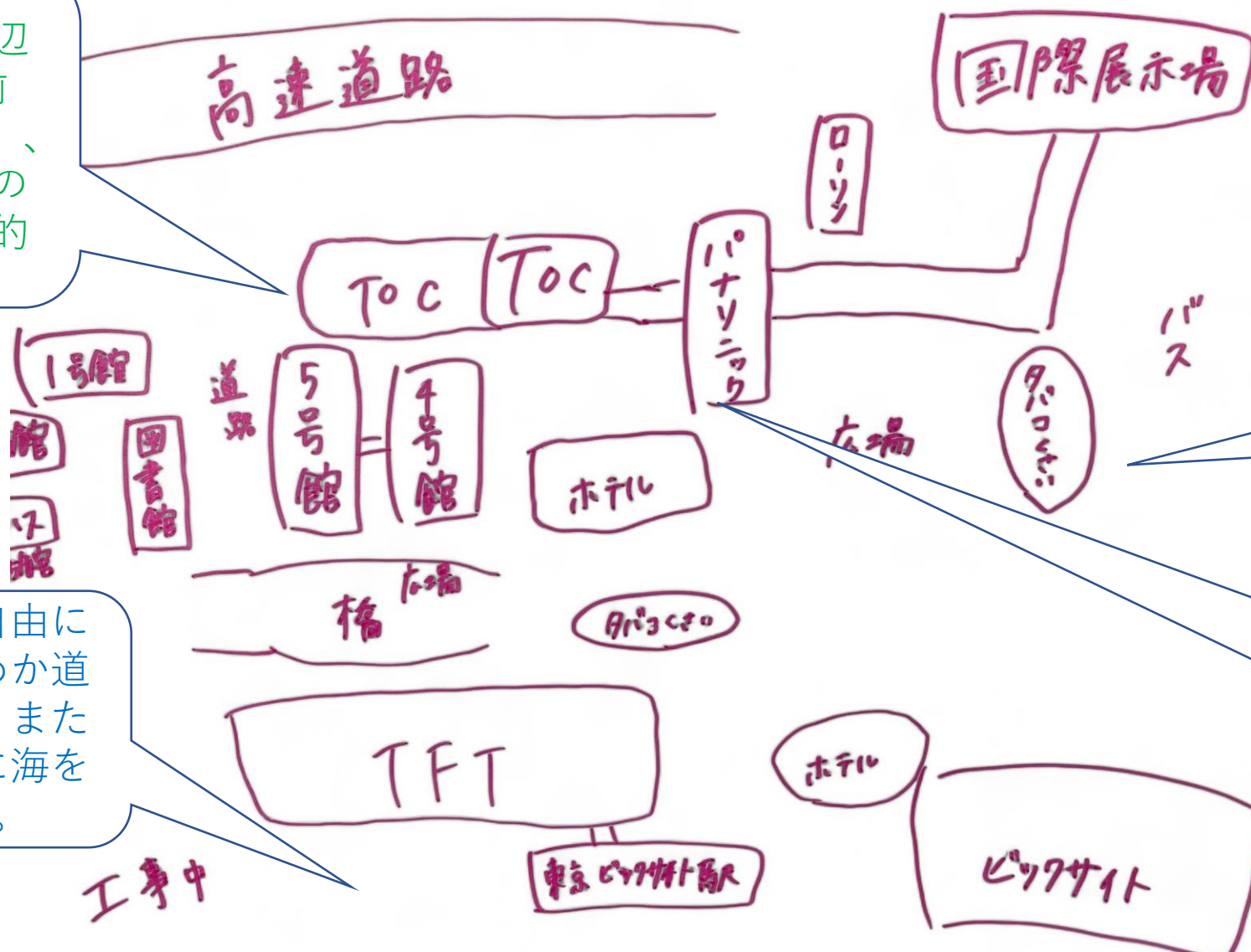
駅の反対側を書  
かない

2か所の喫煙ス  
ペースを書いて  
いる

広い空間を自由に  
移動するためか道  
を描かない、また  
海が近いのに海を  
描かない。

パナソニックは駅か  
ら校舎までの間で通  
り抜けができるため、  
全員が書いている

工事中





## 高校生による東雲駅周辺のイメージマップの例

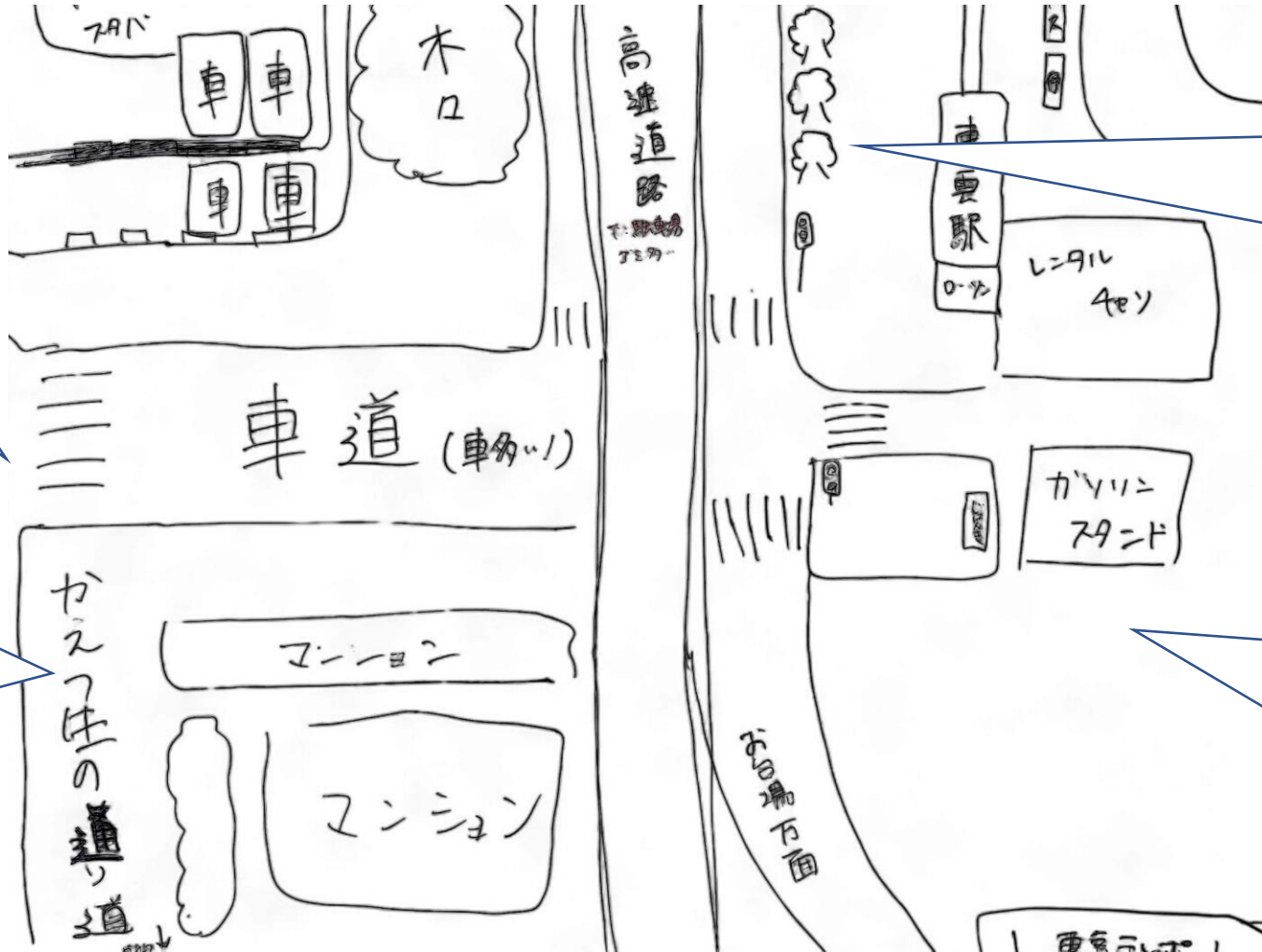
通学路中心、狭い範囲

車道や横断歩道が多く書かれている（ほぼ全員に共通）

駅から高校までの通学路が多く、それ以外はあまり認知されていないのではないか。

樹木の書き込みがある。道路や建物が多い空間で、緑が重要になっているのではないか。

高校がある駅の反対側はあまり書かれない（ほぼ全員に共通）



## 居住者による東雲駅周辺のイメージマップの例

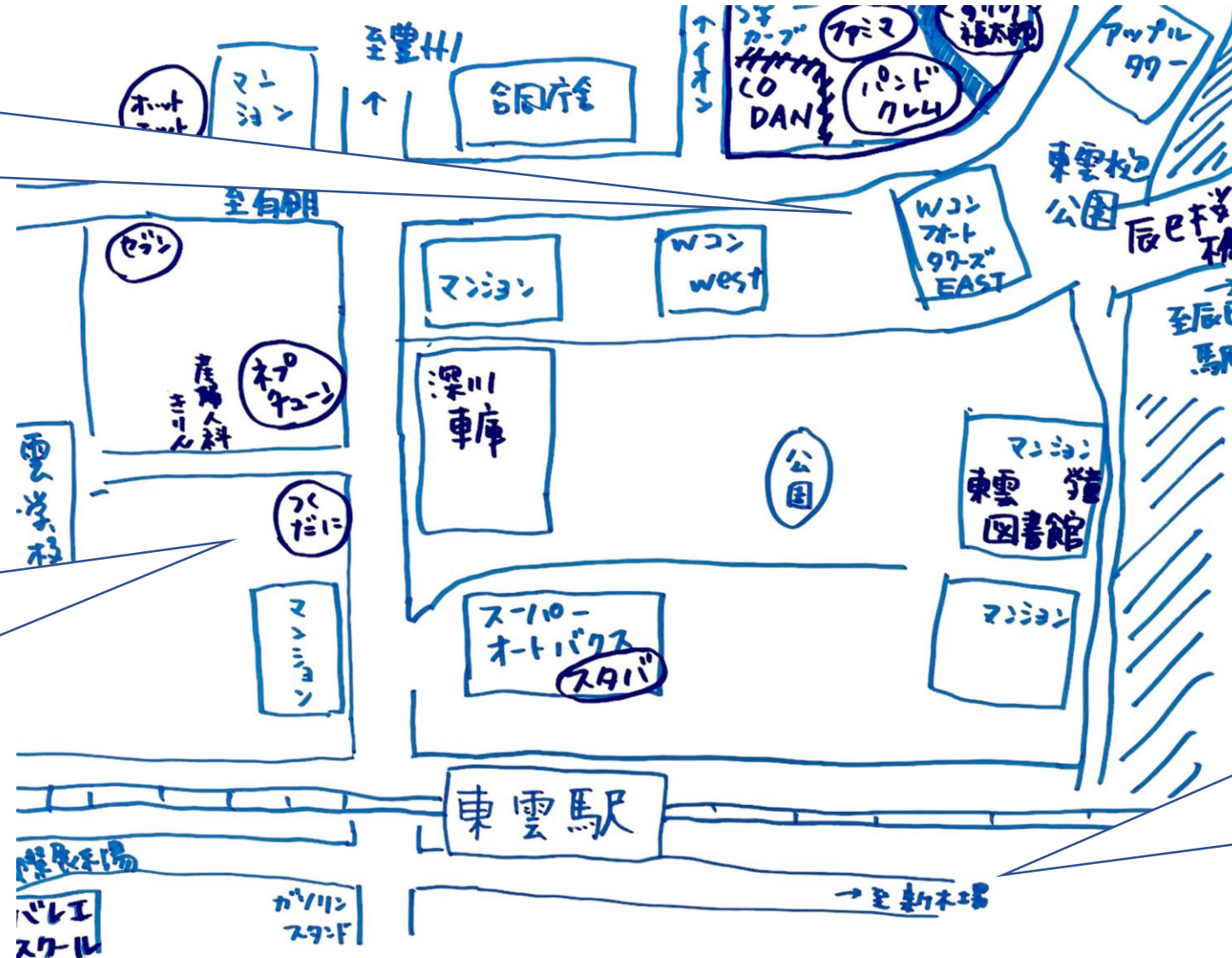
俯瞰的で具体的、生活感

マンションの名  
前が具体的に  
書かれている。

買い物に行く  
店が多く書かれ  
ている

この方の最寄り  
駅は辰巳駅で、  
橋や水辺が  
出てくる

豊洲、新木場、  
国際展示場、有  
明といった他地  
域の方向が示さ  
れている。



## ①人々に共通するイメージ

国際展示場駅	東雲駅
<ul style="list-style-type: none"><li>● 電車、乗り物を描く人が多い（通学時に使うため、イメージが強いためか）</li><li>● マック、サイゼリヤを描く人が多い（利用者が多いためか）</li><li>● 花とかかれたオブジェを描く人が多い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 道と横断歩道を描く人が多い（交通量が多いためか）</li><li>● 気になる樹木を書き込む人が多い。</li></ul>

## ②属性によるイメージの違い

国際展示場駅	東雲駅
<ul style="list-style-type: none"><li>● 大学生は描く範囲が狭く、駅の反対側や近くにある海をほとんど描かない</li><li>● 大学生よりも大学職員の方が書き込む要素が具体的である</li></ul> <p>→地域との関わり方の濃淡によるのではないか</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 高校生は通学路を中心した範囲を描き、駅の反対側や近くにある海をほとんど描かない</li><li>● 住んでいる方は、自分の買い物や子育てに関連する施設を具体的に書き込んでいる。</li></ul> <p>→居住者と通学者の違いがある</p>

### ③地域のよいところ、悪いところ

	国際展示場駅	東雲駅
よいところ	<ul style="list-style-type: none"><li>● ベンチがあり、休憩にちょうどいい</li><li>● ほどよく、気が植えられている</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 鳥が多い、それなりに自然がある</li></ul>
悪いところ	<ul style="list-style-type: none"><li>● 学生が利用しやすい飲食店がない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 駅周辺の道路にごみが多く落ちている</li></ul>

### ④多くの人が知らない要素（あるけど描かれていないもの）

国際展示場駅	東雲駅
<ul style="list-style-type: none"><li>● 有明スタジオ、水の公園、劇団四季 等</li><li>● 具体的な木や花の名前</li><li>● 近くにある海</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● フットサルセンター、激安のうどん店 等</li><li>● 辰巳駅よりの橋</li><li>● 近くにある海</li></ul>

# 考察

- ① 大学生や高校生は、通学で通る範囲しか、地域を見ていない傾向がある。もっと、地域にあるものを知り、地域とのつながりを楽しむことができるのではないか。
- ② 特に駅の反対側、実は近くにある海、地域にある自然や生息する生物、知らないお店等のことを知る機会をつくる必要があるのではないか。
- ③ 大人や地域に住んでいる人は、通学者とは違う認知をしている。大人や地域に住んでいる人と交流し、地域の魅力を教えてもらうことがいいのではないか。